

山口ふるさと伝承総合センター 伝承センター通信

平成 29 年
10 月



キンモクセイ

ものづくり体験見本



伝統工芸大内塗



陶芸



染色

レザークラフト



型染



10月8日、アートふる山口に併せて「体感！実感！クラフト展」を開催します。教室作品を展示販売、様々な手づくり体験ができます。



トールペイント



手織 (イメージ)



パッチワークとちりめん細工

ホタル飼育・カワニナ採りと清掃

一の坂川では7月から9月にかけて、大殿小学校の子ども達や周辺町内会の協力によりカワニナ採取が行われました。大殿ホタルを守る会によるゲンジボタル飼育の一環で、ホタルの幼虫の餌にするためのもの。小さな幼虫にとって食べやすいのは3~4mm程度のカワニナ。川の中で石を裏返して探し、なるべく小さいカワニナを採取します。お父さん、お母さんも小学生時代にカワニナ採りをしたという子どももいる世代で、世代間のリレーが行われています。

ホタルの幼虫は脱皮を2、3回経て順調に成長しつつあり10月19日に一の坂川へ放流される予定です。9月には地域住民、諸団体が協力して一の坂川一斉清掃を実施。アートふる山口、ゲンジボタル幼虫放流と続く秋のイベントの環境が整いました。



まちづくりNEWS ◆ミニ暮音小路◆

銭湯小路と太子堂のはなし

武永清實

銭湯小路は、名前の由来がはっきりしません。銭湯があるからという説明が一般的ですが、大路小路の名前が出来た時代に、蒸し風呂が一般的で銭湯という発想がなかったという主張をするかたもいるようで定かではありません。また、この小路は、旧国道9号線（現在の県道204号線）に無残にも分断されており、その北側にしか住居表示が実施されないままとなっています。（ちなみにNPO法人山口まちづくりセンターは北側なので銭湯小路17番となっています。）はなしがそれでしたが、この銭湯小路に太子堂という社があります。

「山口県のまつり」の記載で、まつりが毎年8月22日に市内の篤志家約200名により祭りが行われている。となっていますが、現在では、銭湯小路、久保小路、新馬場の3町内会の子どもたちによる子供神輿による祭りとなっており、町内を練り歩いて、お年寄りや、大人たちを楽しませています。お菓子は子供たちの祭りのあとの楽しみに、御捨りは子供の会の活動費用の足しになっているようです。

指定管理者 ~NPO 法人山口まちづくりセンター~

⑦ 巡査教習所（現警察学校）

新採用巡査に対する実務を教習する所として、県庁内に設置されていたものが、県庁舎の新築工事のため一時後河原に移転。旧藩庁門西側に新館を建築し大正5年移転しました。戦後県警察学校となり、昭和28年丸山の西側に新築されました。現在は仁保に移転しています。

⑧ 公会堂

大正8年春日山麓に建造されました。玄関は旧県庁（藩庁）の玄関車寄せを移築したもので、瓦葺き入母屋造の和風建築は、同5年竣工の煉瓦造大正モダンの新県庁舎（現県政資料館）と好対照をなしました。昭和33年解体。

⑨ 教育博物館

皇太子（大正天皇）行啓記念として県教育会が、明治45年大殿大路の旧大殿小学校の地に防長教育博物館を開設。大正天皇即位記念事業として県立に移管し大正6年春日山麓に新築・開館。戦後県立山口博物館になります。

⑩ 山口高等女学校

山口中央高校の前身。湯田にあった毛利高等女学校を引き継ぎ明治33年発足、大正11年今の山口大学附属小学校の地に新築移転。同14年県下初の水泳プールが完成し、ここで育った松村選手が昭和11年ベルリンオリンピックに出場しました。

⑪ 附属小学校

明治7年旧山口明倫館の地に創立、以後師範学校附属小学校として変遷。大正15年芳沢町（現市中央駐車場付近）に移転、戦後山口大学教育学部附属山口小学校となり、昭和32年山口高女跡に移転しました。

⑫ 今道小学校

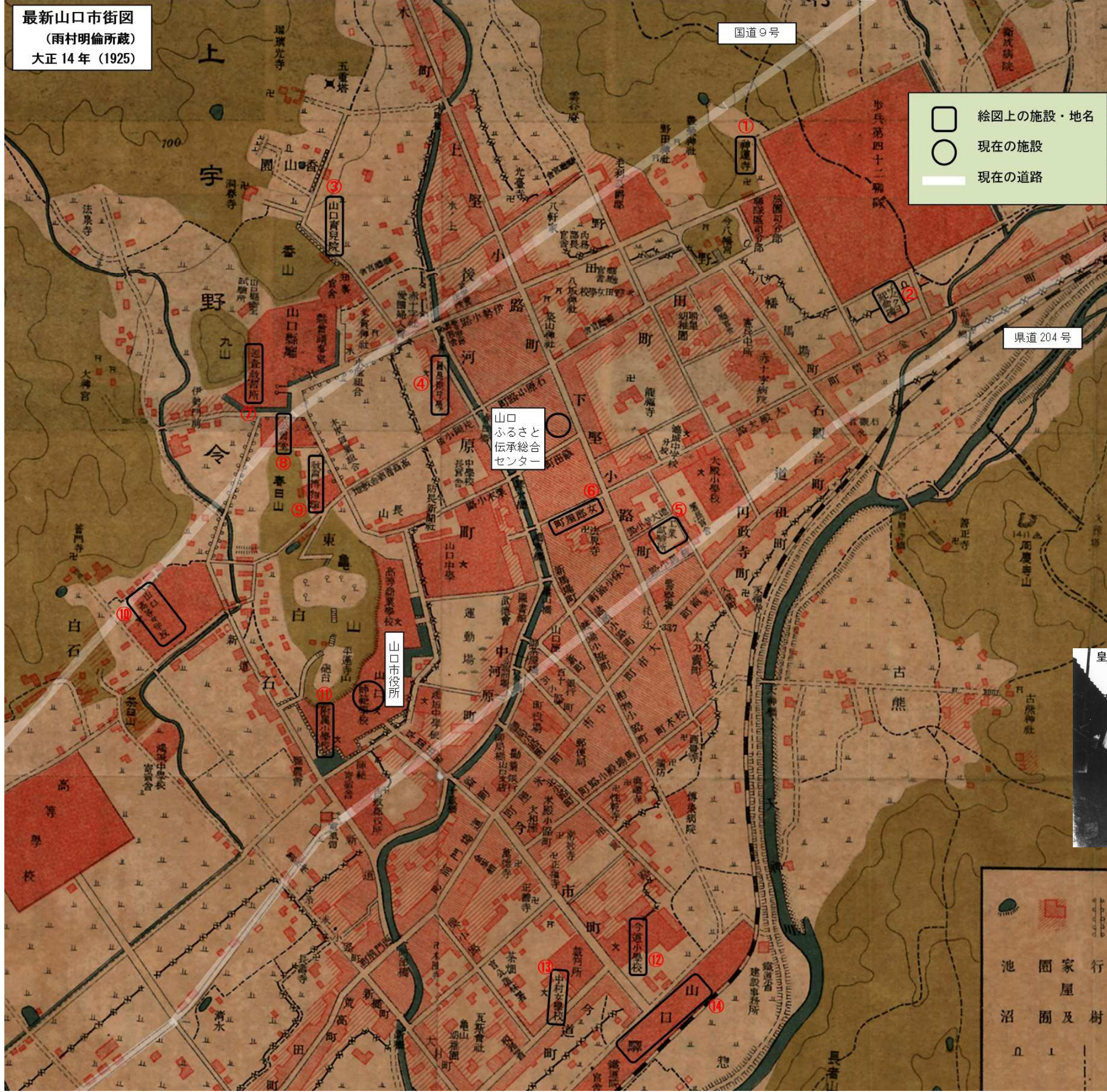
明治5年今道の旧山口客館の地に創立された山口第一小学は、同6年第一番今道小学校と改称。同9年今市に移転、昭和4年東白石に移転しました。白石小学校の前身。

⑬ 中村女学校

慶応3年（1867）中村ユスが野田に裁縫私塾を開設（後の野田御殿の地）。明治14年米殿小路に移り中村裁縫伝習所と称し、同22年御局小路に移転し中村裁縫女学校と改称、同33年今道の現在地に移転しました。大正2年中村実科高等女学校に、同9年組織を変更し中村高等女学校となりました。

⑭ 山口駅

山口に通じる鉄道として軽便鉄道がありました（明治43年小郡から御茶屋橋前山口駅まで開通）、大正2年国鉄山口線・小郡-山口間が開通し山口駅が開業、軽便鉄道は廃止されました。難工事を経て同12年石見益田まで全通、山陰本線と結ばれました。駅舎は昭和53年の改築まで使用されました。



最新山口市街図
(雨村明倫所蔵)
大正14年(1925)

山口ふるさと伝承総合センター

皇太子御成婚奉祝・大正13年頃の下野小路町
(山口市歴史民俗資料館蔵)



① 神蓮寺

真言宗。建久年間（1190-1199）大内弘盛が創建。神宮寺と称し後に神光寺と改号。仁壁・今八幡・祇園の三社の別当で、大内氏・毛利氏より崇敬された巨刹でした。明治3年長山の平蓮寺を合併し神蓮寺と改号。大正5年岩国の妙福寺を合併して神福寺に。

② ザベリヨ記念碑

日本最初のキリスト教教会といわれる大道寺跡を、明治期にヴィリオン神父が探求、大正15年推定地付近に記念碑が建てられました。大正初め頃、中原政熊（中也の祖父）の名義等で土地を購入、鮎川義介も援助しました。

③ 山口育児院

貧困による児童問題が、明治37年日露戦争勃発により深刻化する中、同年洞春寺境内に荒川道隆住職によって創立されました。同41年松の木町の廃寺妙西寺の古材により洞春寺門前に移転、昭和42年現在地に新築移転されました。現在の建物は平成16年に建て替えられたものです。

④ 国学院中学

天保11年（1840）藩主の命により萩に凝成館を設立、文久3年（1863）高嶺太神宮付近に移転し五十鈴学館と改称。明治6年後河原に移り奨弘学館と改め神職・教導職を養成。同30年山口国学院となり、大正3年山口国学院中学と改称。同7年大殿大路の旧防長教育博物館の地に移転、同12年鴻城中学校に合併され校舎は鴻城中学校分教室に。再び山口国学院として後河原の旧校舎に戻りました。昭和41年野田に移り同61年廃校。

⑤ 工業試験所

大正8年県工業試験場が開設され、ここで大内人形の原型が作られます。県商工指導センター（昭和42年朝田に設置）等を経て平成11年県産業技術センターが宇部に設置されました。

⑥ 女郎屋町

大内時代、上臈女房（身分の高い女官）が住んでいた町と伝えられます。学生の下宿屋が多く、仕送りをする親が心配して訪ねてきたという逸話も。昭和になって「錦小路」に改名されました。

10月スケジュール

教室 OB会

日	月	火	水	木	金	土
1 こども茶の湯	2 和裁 型染①	3 トール	4 染色 パッチ③	5 陶芸AB 和裁 パッチ	6 レザー①	7 アートふる準備
8 クラブ展 アートふる山口	9 アートふる片づけ	10 トール 陶芸A	11 陶芸A パッチ①	12 陶芸B 和裁 レザー②③	13 陶芸B 手織 大内塗	14 大内塗 着付 鶴流
15	16 和裁 型染③	17 トール	18 染色 パッチ③	19 ホタル放流 パッチ 和裁 レザー①	20 手織	21 鶴流 竹細工
22 こども茶の湯	23 型染	24 トール	25 竹細工 染色 パッチ①	26 レザー② 和裁 パッチ②	27 手織 大内塗	28 大内塗 着付 鶴流
29	30 そば打ち体験 和裁 型染②	31 床ワックス	11/1	2	3	4

教室（初心者向け）・体験のご案内

平成 29 年度後期各種教室を開講します

10月から各種教室（陶芸、染色、パッチワークとちりめん細工、着付、こどもの茶の湯、竹細工）を開講します。詳しくはホームページをご覧ください。

まだ若干名受け付けている教室もありますので、ご希望の方はお問い合わせください。

<いい夫婦の日 大内人形まつり>同時開催

夫婦湯呑みに絵付け体験

日 時：11月18日（土）

10時～12時、13時～15時

定 員：各回先着20名

体験料：1個500円（1人2個まで作成可）



おとなの木工入門講座（2日間コース）

DIY を始めてみたい初心者を対象に基本を学び、組立式作業台を作ります。

日 時：11月18日（土）、19日（日）

13時～16時30分

講 師：原田忠征氏（木工研究家）

対 象：高校生以上 先着20名

受講料：8000円（2日間）



郷土料理教室

郷土の家庭料理を学びます。

日 時：火曜日コース→11月7日、14日

水曜日コース→11月8日、15日

いずれのコースも9:30～12:30

定 員：各コース先着12名

材料費：1,000円



そば打ち体験

打ったそば3人前をお持ち帰り

日 時：毎月最終週、10月は30日（月）

13:30～16:00

定 員：14名（抽選にて選定）

体験料：1,000円（材料費含む）



申込受付 10月18日（水）9時～
（そば打ち体験は20日（金）まで）

ブラジルからの海外技術研修員が見た日本

ブラジルからの海外技術研修員として伝承センターで研修中の金崎理恵スージーさんに、日本で暮らしてみて感じたこと、ブラジルと日本とのちがいなどについて話してもらいました。

（金崎さん）祇園祭などのお祭りは写真でしか見たことなく、ブラジルの祭りとはちがうので驚きました。

町を歩くとき、ブラジルは夜危ないですが、日本は安全です。

日本語で話してみても通じなければ、英語で話すと基本的なことだったらい通じますね。

日本は電車やバスの時間がきちんとしています。はじめてのころ駅の切符マシンはよくわかりませんでした。慣れてからは便利。降りる時や乗り換えがわかりにくかったです。ブラジルで住んでいる町には電車はなくてバスだけです。

週末自転車で買い物に行きます。リサイクルショップには安くいいものがあります。セブンイレブンみたいなコンビニはブラジルにはなく、ものがないとき便利ですね。ダイソーはブラジルにもあるけど500～1000円ぐらいします。少し高いけど、いいものなので買います。

夏の暑さはブラジルと同じ。夏暑く秋は涼しくなる、というのはブラジルとちがいます。冬の寒さが心配。ブラジルはいつもとても暑くて、時に次の日5℃で寒くなったりもします。

果物が高いですね。ブラジルではいつでもたくさんあるけど、日本では季節の果物がある。なしがおいしく、桃は大きいですね。



山口ふるさと伝承総合センター発行

〒753-0034 山口市下野小路12

TEL 083-928-3333 FAX 083-932-1877

E-mail y-densho@c-able.ne.jp

URL <http://y-densho.sblo.jp/>

館内見学時間

9:00～17:00

入場料 無料